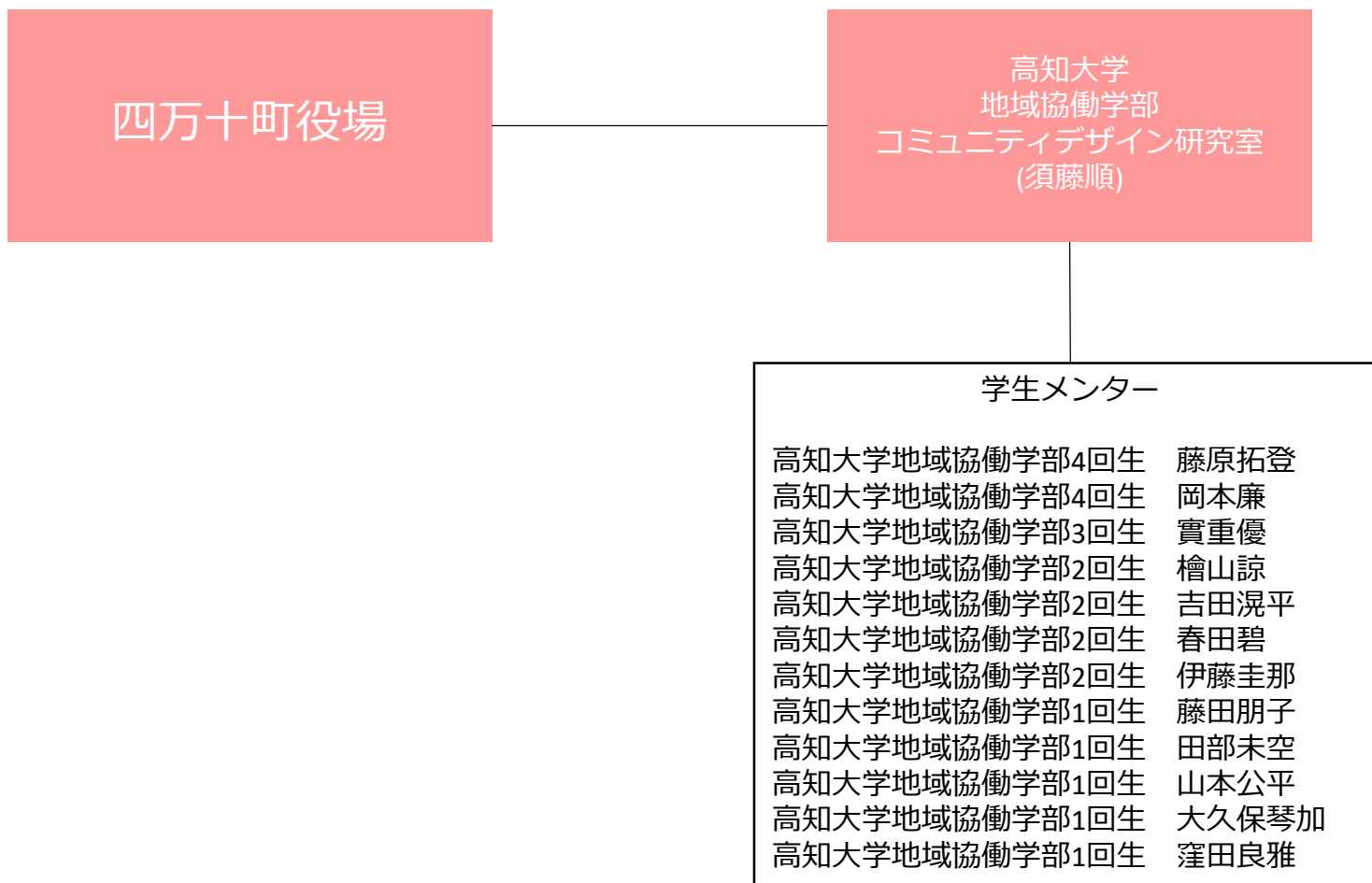




2019年度 四万十町地域イノベーター養成講座 第回 ビジュアルレポート

高知大学地域協働学部
コミュニティデザイン研究室



**1人ひとりが自分事として、
地域課題解決や活性化を目指す
「チャレンジする人材」の学びの場**

- ① 一人ひとりが自分の経験の中から、自分自身のミッション（使命）を見つけ出す
- ② “ジブンゴト”で取り組むことができるプロジェクトを自分自身で生み出す
- ③ ジブンゴトのプロジェクト（マイプロジェクト）に取り組む仲間同士がともに切磋琢磨しながらも支え合う関係を創る

- 1 安心・安全の場をみんなで創ろう
- 2 ありのままの自分を素直に出そう
- 3 仲間・プロジェクトを評価しない
- 4 プロジェクトは変わってOK
- 5 お互いに貢献し合う

自分に基づいた (My)

「何かを、プロジェクトの形にして (pjt) やってみる」
ことから始まる、自分や世の中の変化の物語

自らの経験の中から、
自分のミッションを生み出していく

マイプロ Me編	名前 (ニックネーム、読んでほしい名前、その由来)	作成日： 場所：
似顔絵・写真	みんなが知らない自己紹介	
自分ヒストリー 音 (～)学校	人生グラフ：横軸は年で、縦軸はイキキ度(幸せ度)。人生で輝いていた時、沈んでいた時を見る化しよう！	
(～中学・高校)		
(～専門・大学)	みんなが知らない自慢・一発芸・得意技	
(～現在)		
今		
マイプロジェクトの源泉へ		

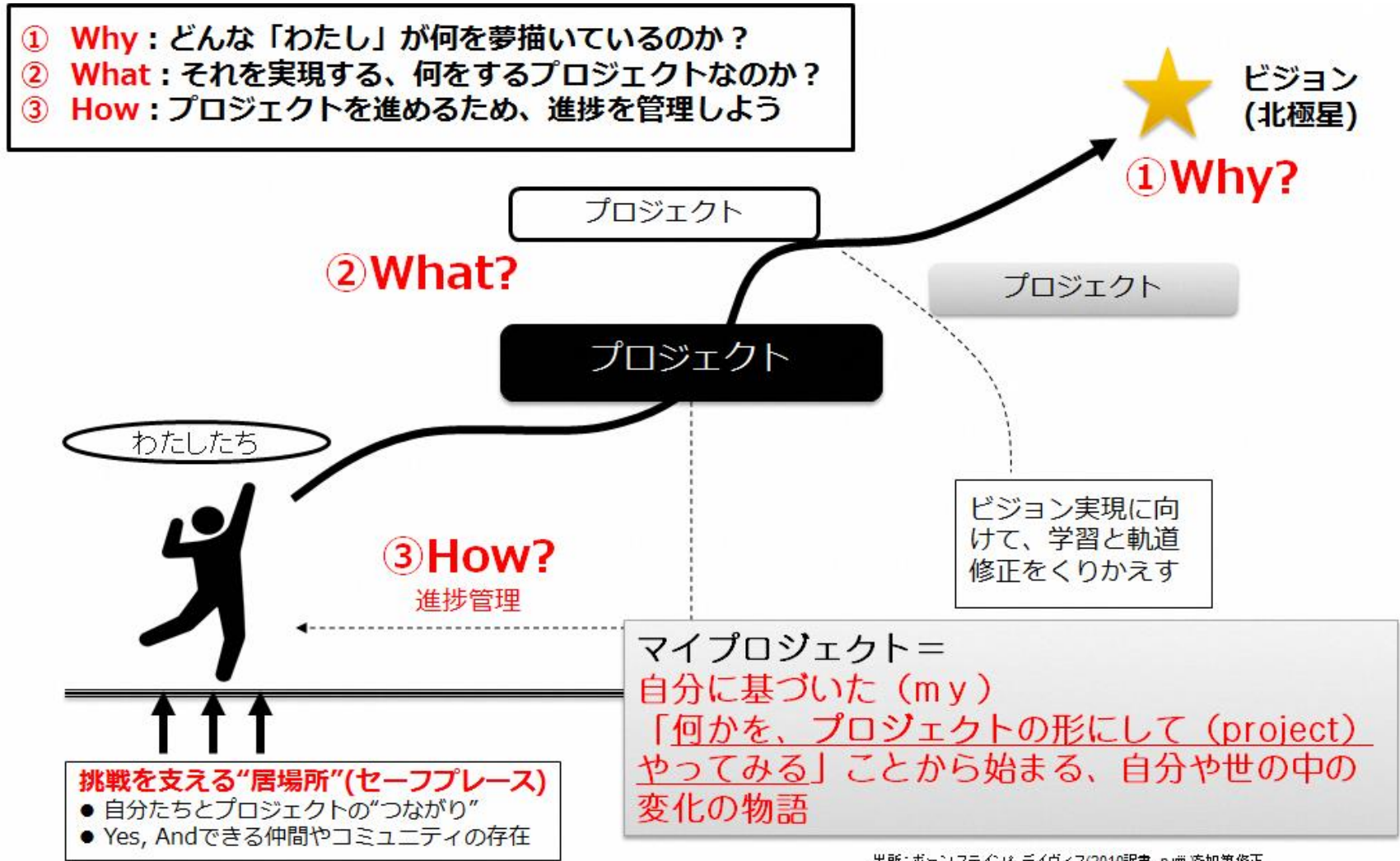
← me編シート

- ・自分のライフヒストリーや好きだったこと、楽しかったこと、つらかったことなど
- ・自分の人生をグラフにしてみる
- ・普段見せない自己紹介

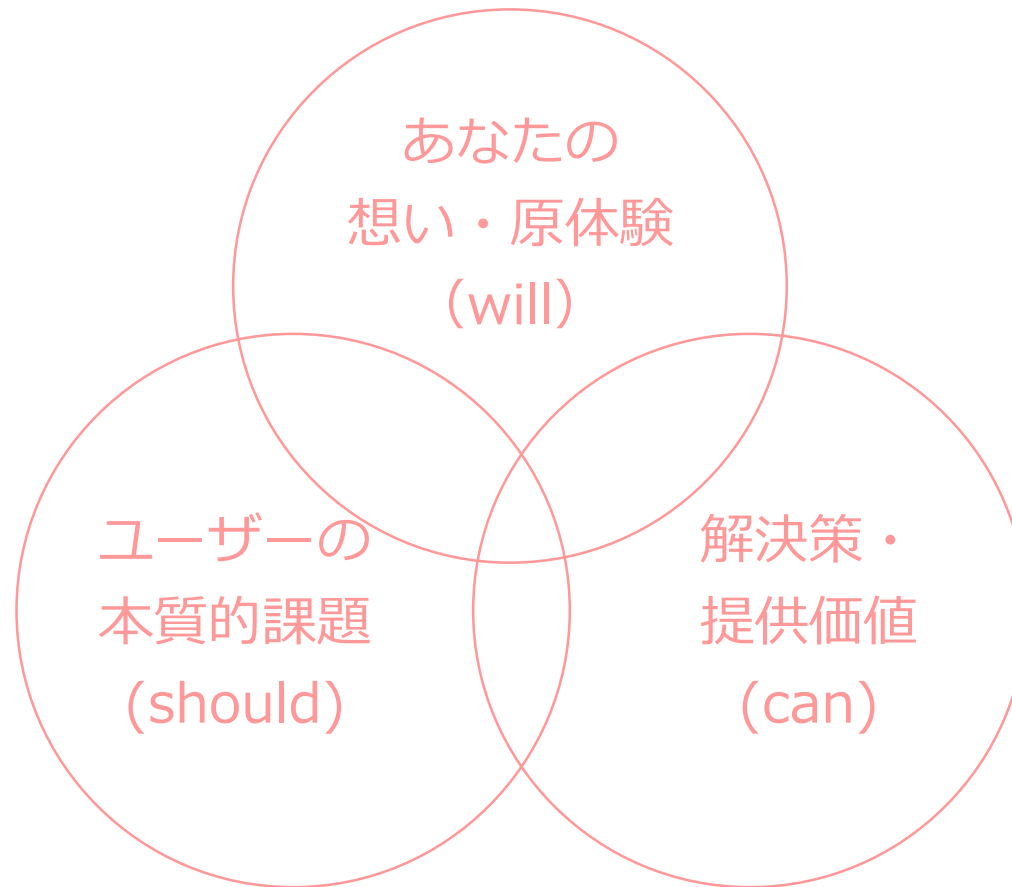
project編シート→

- ・自分と紐づいたプロジェクトを書き出す
- ・それは誰にどんな価値を生み出すのか

PROJECT編	
わたしのプロジェクト(マイプロジェクト)を一言で！	
■実践したいプロジェクトの概要	
■「やってみたい！」と思った、理由や背景、原体験	■「誰」にどんな価値を生み出しますか？



出所: ボーンSTEIN& デイヴィス(2010訳書, p.14) 追加修正
※ 井上英文作成



【実施概要】

- 実施名称 四万十町地域イノベーター養成講座 第2回
- 日 時 令和1年8月3日（土） 13時00分～17時00分
- 会 場 高知県高岡郡四万十町 地域交流センターたのの
- 主 催 四万十町・高知大学地域協働学部コミュニティデザイン研究室
- 実施内容 一人一人がジブンゴトトして、地域課題解決や活性化を目指す「チャレンジする人材」の学びを支援する「地域イノベーター養成講座」の第2回目を開催した。

【タイムライン】

- 13 : 00 あいさつ 須藤順（高知大学地域協働学部）
- 13 : 10 チェックイン&自己紹介
- 13 : 30 基調講演 嶋崎 裕也氏（株式会社 アースエイド 代表取締役）
- 14 : 00 マイプロ発表&LSPワーク
- 17 : 00 クロージング

株式会社アースエイドの嶋崎氏の講演がおこなわれた。小さいころから憧れていた車の仕事をやめ、葉ニンニクに情熱を注ぎ続けている姿が印象的であった。



講演の様子



聞き入る受講生



嶋崎氏講演



受講生様子

事前に作成してきたシートを使い、マイプロの発表、マイプロに対してのフィードバックをおこなった。聞き手側は、発表者のマイプロに前のめりになりながら聞き入っていた。発表者のマイプロへのフィードバックは活発におこなわれていた。



受講生の「やりたい」が軸になったマイプロは素敵なものばかりだった。受講生が抱えている思いマイや悩みなどもマイプロを通して聞くことができた。

「この人とこの人のマイプロを掛け合わせても楽しそう」などの意見もあり、どんどんおもしろいマイプロになっていくと感じた。



マイプロを行っている様子



受講生の発表の様子



マイプロの発表

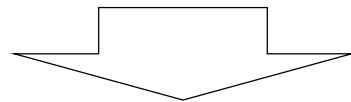


フィードバックの様子

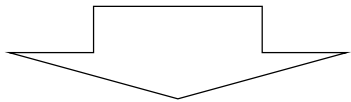
レゴ®シリアスプレイ®ワーク(LSP)を使い、「人生で大切にしていること」というテーマを自分なりに表現し、共有した。今回は、自分の作ったレゴを違う人が共有するという方法になり、他人のレゴを自分の言葉で表現することに少し苦戦している様子だった。



STEP1: “My Story” → “It’s me ”



STEP2: 「共に」 一歩踏み出す



STEP3: 仲間として支え合う

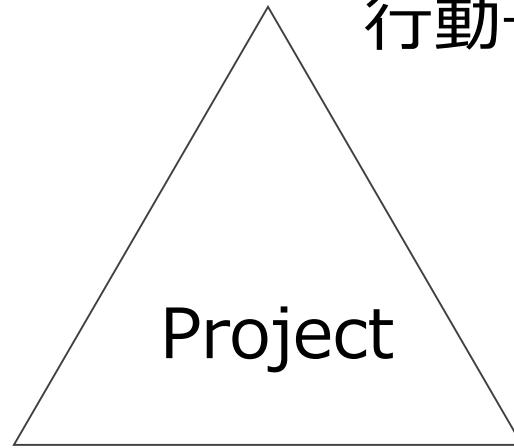
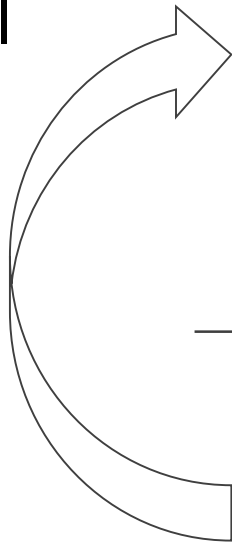
変化歓迎・失敗歓迎・立ち止まり歓迎

プロジェクトの成功より、

一人一人が自分の人生を生きているかどうか？

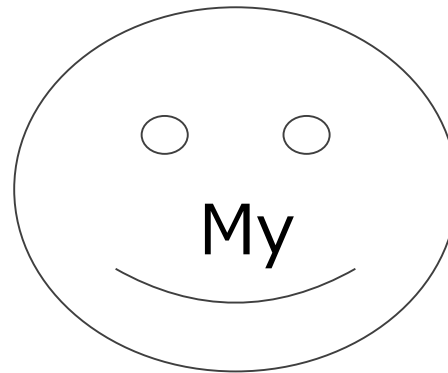
行動→気づきと仲間

「わたし」
のWill

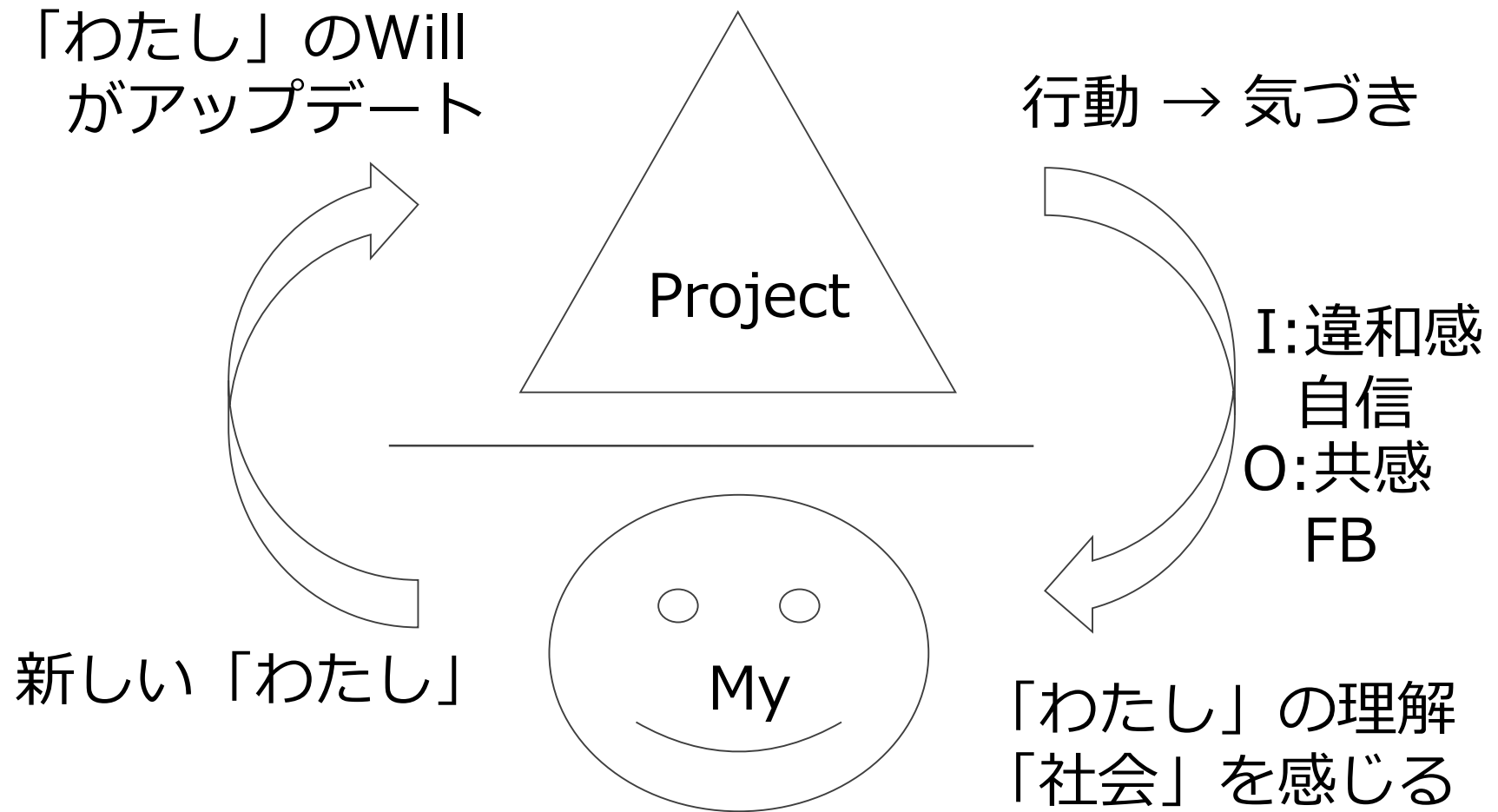


賞賛
共感
違和感
失敗
成功

新しい「わたし」



自信
「わたし」の理解



出所：ビジネス・ブレイクスルー大学 須子善彦氏作成資料より

① マイプロシート(me & pjт編)をみんなの前でシェア



② みんなからフィードバック



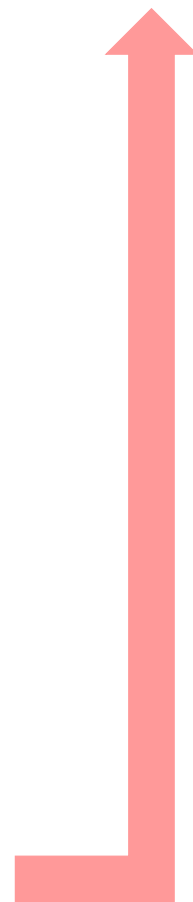
③ プレゼントカードを書いて渡す



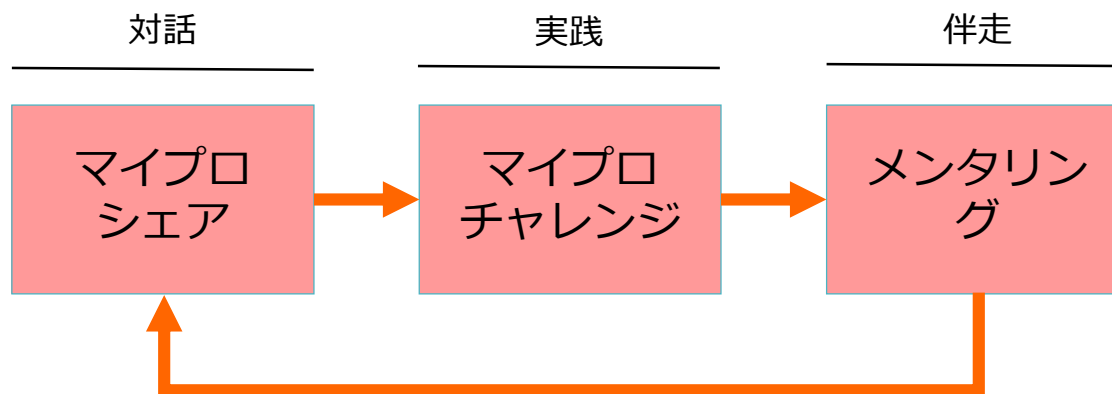
④ アクションを試してみる



⑤ 気づきを踏まえてシートを書き換える



※みんなで支え合いながら、
このサイクルを超高速で回していく



- 四万十町地域イノベーター養成講座は、誰かが知識や方法論を教えるのではなく、受講生一人ひとりと大学生メンターと一緒にマイプロジェクトを進め、喜びや悩み、想いを共有しながら一歩ずつ前に進んでいくことを目指します。
- 対話を通じて一人ひとりのマイプロを共有し、一人ひとりが小さな実践を行い、それを受講生と大学生が相互にメンタリングを行いながら、「本当に自分がやりたいこと」に取り組んでいきます。
- こうしたプロセスを通じて「ジブンゴトをミンナゴト」にしていくための一人ひとりに法則を見つけ出していきます。
- 地域にイノベーションを起こすためには知識や方法論、メソッドはもちろん、本当に自分がやりたいこと、気になることを、仲間とともに小さな一歩を進めることから始まる、というのが私たちの基本的な考えとして講座を進めていきます。

担当：横山 光一

〒786-0008 高知県高岡郡四万十町榊山町3番7号

TEL 088-022-3163 FAX 088-022-3123

E-mail 103060@town.shimanto.lg.jp

高知大学地域協働学部コミュニティデザイン研究室(須藤順研究室)

担当：講師 須藤 順

〒780-8520 高知県高知市曙町2-5-1総合研究棟1階

TEL 088-788-8077 FAX 088-888-8043

E-mail j.suto@kochi-u.ac.jp

Web <http://www.communitydesign-kochi.jp/>

※本講座に関する問い合わせは上記までお願いいたします。

※本資料の無断での配布、外部組織や個人への配布・閲覧、及び二次使用は、固く禁止させていただきます。